

■活動状況

2024 年度事業報告

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

2024 年度の日本経済は、自然災害や自動車の工場稼働停止、実質賃金の回復遅れなどもあって、一時停滞感を強めたものの回復基調を維持し、マイナス金利の終了や日経平均株価の史上最高値更新など、インフレ経済への回帰が見られました。個人消費の復調やインバウンド需要の好調が景気を支えましたが、円安や人手不足、海外景気の減速が逆風となり、通年の成長率は主要 7 カ国の中で最も低い伸び率になりました。一方、九州経済は、円安や国際的な原材料価格の上昇がマイナス要因となったものの、全体として、半導体関連産業の投資が堅調で、設備投資の活発化が、全国を上回る九州経済の成長を牽引する年となりました。

NPO 法人北九州テクノサポート (KTS) は、コロナ後の経済活動の正常化に対応すべく、従来の技術経営ものづくり支援グループ (Gr.) と環境・省エネ支援 Gr. を統合して、技術・環境経営ものづくり支援 Gr. とする組織再編と国税庁の新「収益認識に関する会計基準」に対応するため EA21 の地域事務局「環境未来」が抱える前受金処理の明確化に取り組みました。その結果、技術・環境経営ものづくり支援 Gr. は、省エネルギー診断拡充事業や鉄道レール部品製造工程自動化 FS 事業を新規に受託する成果を上げることが出来ました。また、EA21 の地域事務局の前受金処理の膨大な事務計算処理に Python を適用することによって明確化できた結果、正味資産額が従来の半額程度になりましたが、NPO 法人として監督官庁や受託先の信用を失うことは無いレベルであることが確認されました。さらに展示会におけるビジネスマッチング事業は、入場者数はコロナ前を上回る水準まで回復するとともに、コーディネーターによる商談見込み金額が 9 千万円を超えるといった成果が得られました。

KTS は、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT 活用支援グループが整備したオンライン会議ツール Teams と Zoomなどを駆使しながら、第 4 次産業革命の勉強会や KTS の会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開しました。

<2024 年度の主な活動>

<関係先>

◆ 省エネルギー診断拡充事業	(一社)環境共創イニシアチブ (SII)
◆ 鉄道レール部品製造工程自動化 FS 事業	地域の中小企業
◆ 北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財)北九州活性化協議会
◆ 北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援	(公財)北九州活性化協議会
◆ タイ国高度人材インターンシップ受入企業開拓業務	(合)アットキャリア
◆ 課題解決 EXPO2024 ビジネスマッチング事業	(公財)北九州観光コンベンション協会
◆ 北九州商工会議所アドバイザー活動の推進	北九州商工会議所
◆ 製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
◆ エコアクション 21 認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構 EA21 中央事務局
◆ 広報誌(夏号/冬号)の発行	国、県、市、公共・学術機関、賛助会員、協賛会員
◆ よろず相談 8 件	地域の中小企業